潮来高生、箏に挑戦

一斉に奏で、優雅な音色

県立潮来高（高野光章校長、潮来市須賀）で26～30日、箏の実技講習会が行われた。生徒たちは、伝統楽器の歴史を学び、演奏に挑戦した。

講習会は、音楽の授業を選択する生徒を対象に実施。同市内で体験教室を開く高橋将行さん(35)らが指導した。

28日は、3年生30人が参加。高橋さんから箏の素材や構造、各部の名前、演奏方法などの説明を受けた後、現代箏曲「さんさんさくら」の練習に励んだ。弦のはじき方などに苦戦したものの、練習を重ねると、しっかりとした音が鳴るようになった。最後は全員で一斉に奏で、優雅な音色を室内に響かせた。

高橋さんによる実技講習会は3年目で、昨年から音楽を選択している鶴町惟人さん(17)は「指の形を覚えていたのでスムーズにできた。特殊な弾き方も教えてもらうなど、未知の体験ができるのは楽しい」と笑顔で話した。高橋さんは「基本的なことを覚えてくれていたのでうれしい。日本の文化を伝えられてよかった」と語った。（藤崎徹）



高橋将行さん（左）のアドバイスを受けながら箏の演奏に挑戦する生徒たち＝潮来市須賀